

佐伯民報

2015年
6月1日
第131号
日本共産党
佐伯支部

☆ひとりで悩まずお気軽に相談を☆
日本共産党無料法律相談
毎月第2日曜 午後4時〜

西部地区事務所
37-0171

↑相談の予約は
大畑美紀
74-2310

3月議会報告 3月3~23日



27年度予算案

◆**売れる見込みはあるのか**
議員全員協議会と予算委員会で
は、「工業団地は県内各地で売れ残
っている。需要があるのか」「今後
の経済見通しが暗いのを分かって
いながら進める根拠は」「リスクが
大きい。失敗すれば誰が責任をとる
のか。」等、計画を疑問視する質疑
が次々に出されました。

市は「あくまでも事業実施する
かどうかの調査」としますが、「ど
の段階で判断するのか。判断基準
は。」との質疑に「すぐに対応で
きるよう、『やる』という前提で
熟度を高めていきたい。27年度中
には何らかの方向性を示した
い。」と答弁。

◆一般会計修正案、否決

事業予定地がギフチョウの生
息域であることから、環境影響調
査予算（600万円債務負担行為）
も計上されました。これに対し山
田・山本・藤田議員から「事業は

新機能都市開発構想 環境アセス予算 賛否分かれる

平良～佐方
の山林を開発
約150ha造成
工業団地や大型
商業施設立地

全体事業費
約130億円

◆木材港のさらなる埋立も

予算案では「木材港土地利用検
討調査業務委託料（405万円）」
も計上されました。「山を削り海を
埋め立てる」大開発が市民生活向
上に寄与するとは考えられません。

国の平成 26 年度一般会計補正予算

（第1号）に対応したものです 佐伯・吉和地域
主なもの

■青年就農交付金 525万円

H27年度の予定を前倒し、早期に支給。

■急傾斜地崩壊対策工事県負担金 175万円

玖島檜原地区 H26年度中の工事が困難なため、
27年度に繰り越されます。



毎議会傍聴しています
大畑美紀前市議

26年度補正予算

国の地域活性化・地域住民生活等緊 急支援交付金を活用したものです

■産直市地域拠点機能強化事業補助金 2978万円

JA 産直市は、現在可愛川沿いで開かれています、イオン跡地
（JA 病院隣）へ移転します。保冷库・保冷車などの購入を支援。

■プレミアム付き商品券事業補助金 1億5329万9千円

国の緊急経済対策として、1万円で額面以上の商品購入ができる
プレミアム付き商品券を発行。国が示すプレミアム率は10~20%。
約5300万円は商品券の印刷代、運搬費、銀行の手数料負担金等。

■けん玉ワールドカップ開催負担金 300万円

27年度当初予算に計上していましたが、交付金活用で前倒し

■けん玉等普及業務委託料 961万円

けん玉を製作している木材利用センターの人件費や備品等。



その後、1万円の商品券に
2千円（20%）のプレミア
ムをつけることを公表

介護保険料(65歳以上)

4月から引き上げ

日本共産党市議団植木議員は反対

現行8段階を10段階に

低所得者の一部は引き上げとなります
が、平均で6,8%の引き上げです。

第4段階(基準額)年額 56,520円

→新第5段階 60,400円

第8段階 年額 98,910円

→新第9段階 105,700円

→新第10段階 111,740円



「保険あって介護なし」
にしないために

「基金から6億円を取り崩し、引き上
げ額を抑制した」との説明がありました
が、介護サービスを受ける人が増えれば
増えるほど、また、介護事業所を建設す
れば、それが介護保険料引き上げとなっ
て市民負担増となる仕組みに問題があ
ります。制度の抜本的な見直しが必要です。



6月定例会は、6月2日(火)開会です。

新議長決まる

4月17日

議長 藤田俊雄氏 副議長 岡本敏博氏

臨時議会

議長選挙結果

(敬称略 所属会
は4月17日現在)

藤田俊雄(クラブ進風) 16票

有田一彦(新政クラブ) 14票

副議長選挙

岡本敏博(新政クラブ) 27票

堀田憲幸(新政クラブ) 1票

植木京子(日本共産党市議団) 1票

白票(無記名) 1票

議長選挙に際し、二つの議長候補側から支持の要請がありました。植木議員は、民主的な議会運営を求める日本共産党市議団の要請に応えられるとした有田氏と政策協定を結び、有田氏を支持しました。
そのほか常任委員会、特別委員会の構成、正副委員長が決まりました。

荻村文規議員が辞職

議員辞職したい旨の申し出があり、4月27日、議長が許可しました。荻村氏は10月に行われる市長選挙への立候補を表明しています。

土木工事など

- 佐伯支所屋上防水工事 5184万円
- 吉和魅惑の里リニューアル事業 1億5533万4千円
- 打森谷ため池改修工事請負費 5700万円
- 佐伯地区簡易水道新設改良事業 8141万6千円
- 南部簡易水道峠第4水源整備工事 7851万6千円
- 津田地区道路地籍整備事業 2499万7千円
下水道整備計画区域内で道路と私有地との境界や所有権を調査します。
- 佐伯地区公共下水道整備事業 2億3020万円
津田地区へ向けた下水管整備工事(汚水3, 2ha)
- 新宮原住宅建設事業 1135万7千円
設計業務委託料と地質調査業務委託料です。県道を挟んでJA津田支店裏側の方を建替え。鉄筋コンクリート造4階建 単身・高齢者・障害者世帯用合わせて24戸(H30年度完成予定)
- 佐伯総合スポーツ公園体育館屋上防水改修工事 1200万円
- 廿日市津和野線歩道整備工事 1150万円
- 檜原地区急傾斜地崩壊対策県負担金 250万円
- 河川整備事業(東谷川 権現川) 920万円

27年度予算

佐伯・吉和地域 主なもの

名称変更

「公民館」が「市民センター」に

～公民館のままでも豊かな活動ができるのに～

設置目的を「社会教育法第24条の規定に基づき」から変更し「……社会教育法第3条及び第24条並びに廿日市市協働によるまちづくり基本条例第7条第2項の規定に基づき、生涯学習及びまちづくりの拠点として」とし、「市民センター」に名称変更するものです。もとより公民館は社会教育の保障の場、住民自治を推進する拠点であり、名称変更まで行う必要はありません。登録団体の使用料の有料化、引き上げなどに続き、今回の条例改正は市民の権利を守る行政の責任放棄につながるものであり、日本共産党植木議員は反対しました。賛成多数で可決されました。

3月議会条例改正

岩倉ファームパーク

駐車場が無料に 4月1日から

短時間の川遊びや散策目的などでも駐車料金を徴収され、地元利用がしにくくなったとの声が多いことから、**駐車場が無料化**されます。キャンプ場利用料金は条例の定める範囲で指定管理者が設定しますが、基準値として1人につき**宿泊** 現行500円→800円(上限1040円)に **日帰り** 現行250円→400円(上限520円)に設定、料金の範囲を改定。

休日・夜間救急に外科も

あいプラザ内 10月頃からの予定

開設は10月頃から、当面は月～金曜日のうち3～4日 午後7時～10時の予定です。現在は、内科(15歳以上のみ)平日午後7～10時 日・祝・休日、年末年始は午前9時～午後10時

- 津田小学校普通教室耐震補強 8028万9千円
- // 給食室給湯設備改修工事 135万円
- // プール塗装改修工事 736万6千円
- 友和小学校普通教室耐震補強 1315万4千円
- 佐伯中学校特別教室棟耐震補強 999万7千8百円
- // 柔剣道場天井等耐震改修 1399万7千円
- 旧玖島・浅原小学校遊具撤去工事 123万6千円
- // 校舎侵入防止工事 14万4千円
- 佐伯高校活性化支援事業補助金 98万円
- バス路線維持補助金 2786万1千円
広電へ補助 うち玖島線450万円 上栗栖線310万円 吉和線560万円 川末線1200万円 宮島メープルライナー266万1千円
- 定住推進員の配置(佐伯支所) 271万4千円
- 吉和診療所整備事業 1907万5千円
福祉センターに移転・建て替えのための実施設計費、地質調査費等
- 吉和地域高齢者施設整備工事実施設計業務委託料 523万6千円

教育・福祉・医療関係

ストップ! 戦争できる国づくり

戦争立法に反対しましょう
平和外交で信頼される日本へ

